

# 停電時の使い方（自立運転）

## 停電時の使い方（自立運転）

停電時の室内リモコンの表示は、画面左上に「停電時運転中」と表示されます。

- 停電時の操作はありません。
- 非常時兼用コンセントに自動的に給電されます。

■例：停電時運転中のホーム画面



- 分電盤の切替スイッチが「蓄電」側になっていることをご確認ください。切替スイッチを「蓄電」側でご利用いただいた場合は、停電時、自動的に非常時兼用コンセントに電気が供給されます。

### 停電時の家電製品の利用について

非常時兼用コンセントの消費電力（目安）は 1500 W です。（100 V のみ使用可）

（蓄電池ユニット出力：最大 2.0 kVA、太陽光が 3 kW 以上発電している場合：最大 3.0 kVA）

電気の使い過ぎや使用中の家電製品の特性により、非常時兼用コンセントで機器の出力を超える電力を使用すると、室内リモコンにメッセージを表示して、非常時兼用コンセントへの給電を停止します。

下記の家電製品は、非常時兼用コンセントへの接続を避ける、または注意してください。

| 途中で電源が切れると困る家電製品   | 突入電流が大きい家電製品                 | 消費電力が大きい家電製品         | 保温機能がある家電製品  |
|--------------------|------------------------------|----------------------|--------------|
| 接続禁止               | 動作しない場合がある                   | 動作しない場合がある           | 動作しない場合がある   |
| 医療機器、デスクトップ型パソコンなど | 掃除機、遠赤外線ヒーター、洗濯機、ポンプ、業務用機器など | 電子レンジ、電気ストーブ、業務用機器など | 炊飯器、温水洗浄便座など |

- 分電盤の切替スイッチが切り替わる時、2 秒程度電気の供給が瞬断します。そのため、瞬断が発生すると不都合が生じる機器（医療機器等）は接続しないでください。
- 途中で電源が切れると困る家電製品は接続しないでください。
- 突入電流が大きい家電製品や業務用機器などは一部動作しない場合があります。
- 消費電力が大きい家電製品や業務用機器などを利用する場合は、動作させる前に、他に接続している家電製品を減らすなど、非常時兼用コンセントの定格を超えないように工夫してください。
- もし、安全装置が作動してしまった場合は、室内リモコンのメッセージに従って、接続している家電製品の数を減らして、システムを再起動してください。
- 200 V の家電製品（エアコンや IH クッキングヒーター）は使用できません。

### <停電時にご利用できる家電製品の目安>（同時使用可能：非常時安心設定 70%の場合）

- LED 照明（10 W）：3 時間【30 Wh】
  - 冷蔵庫（70 W）：15 時間【1050 Wh】
  - テレビ（150 W）：0.5 時間【75 Wh】
  - ルーター・TV ブースター等（10 W）：15 時間【150 Wh】
  - 携帯電話（2 台 10 W）：1 時間【10 Wh】
- ※蓄電池の劣化（容量保証 10 年・50%）を見込んでいます。  
 ※実際の使用環境・機器等によって、電力の使用可能時間が異なります。  
 ※停電時は、事前に計画されたスイッチ、コンセントのみ電気が使えます。  
 ※蓄電池ユニットがない場合は、太陽光が発電している時のみご利用できます。

## 復電時の操作

- 停電後、復電した場合は、本システムに対して、特別な操作はありません。
- 電力会社との協議で定められている時間内（最大 5 分）は、復電しても停電時の動作となります。復電後、電力会社との協議で定められた時間を経過すると、本システムは通常時のモードで動作します。